

令和元年度 事業報告

国においては、少子高齢化が急速に進展し、人口が減少している中、働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらず能力や経験を生かして、生涯現役で活躍し続けることを強く求めています。

当町においては、65才以上の割合が令和2年3月末31.2%、昨年より0.5%増加しています。また、会員の平均年齢は74.2才、75才以上の占める割合は、44.4%であります。高齢者が地域社会で居場所や出番を見出し、併せて、高齢者の生きがいの充実、社会参加への促進、地域社会の支え手として、生涯現役で活躍することが求められており、シルバー人材センターの果たす役割は、今後も大変重要となっております。

こうした中、当センターでは、中期計画に基づき新規会員の加入促進および退会の防止に努めてまいりました。その結果、令和2年3月末の会員数は232人、昨年度より13人の増となりました。

事業状況については、事業契約額87,466千円、対前年比98.8%、派遣契約額は19,351千円、対前年比90.7%、前年度と比較しますと、契約額全体で、106,817千円、3,019千円の減、対前年比97.3%、中期計画では、目標値は107,000千円でありましたが、新型コロナウイルスの影響により、3月の請負契約額が減少しましたが、ほぼ計画どおり達成することが出来ました。

当シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、共に助け合い、健康で元気に働ける地域社会の支えとして、町、関係各位のご指導ご支援を賜わり、シルバー人材センター会員と役職員が一丸となって就業機会の確保と円滑な事業推進に努め地域社会に貢献してまいります。

以下、令和元年度事業実績状況をご報告申し上げます。

